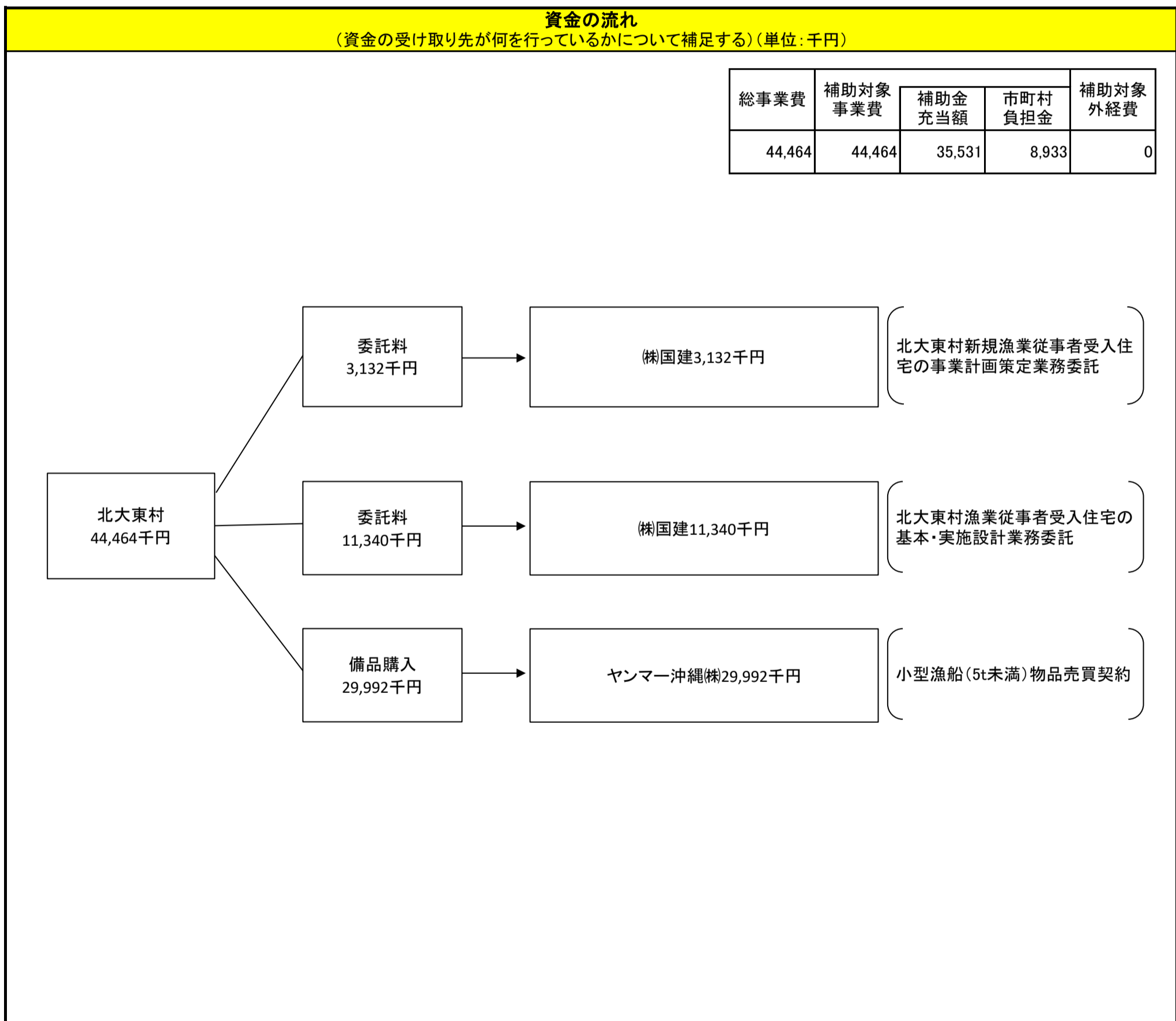


市町村名	北大東村						
平成29年度（繰越）沖縄離島活性化推進事業費補助金検証シート							
事業名	水産業振興担い手移住拡大事業	事業類型	<input checked="" type="checkbox"/> 産業振興 <input checked="" type="checkbox"/> 定住促進 <input type="checkbox"/> その他				
担当部課名	経済課	事業実施（予定）年度	平成29年度～令和3年度				
事業内容	水産業の担い手確保を図るため、新規漁業従事者向け住宅の整備及び担い手の技術習得のための環境整備を行う。						
先導性に係る取組	<input type="checkbox"/> 自立性 <input type="checkbox"/> 官民協働	<input checked="" type="checkbox"/> 政策間連携 <input type="checkbox"/> 事業推進主体の形成	<input checked="" type="checkbox"/> 離島活性化を担う人材の確保・育成 <input type="checkbox"/> その他				
効果発現年度	<input type="checkbox"/> 当年度 <input checked="" type="checkbox"/> 後年度（令和3年度）						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input checked="" type="checkbox"/> その他（備品購入）						
予算額・執行額 【単位：千円】 （「補助金」＋「市町村負担」ベース）		H29年度	H29年度（繰越）	H30年度	R1年度	R2年度	
	予算の状況	(a) 当初予算額	45,145	-			
		(b) 予算現額	45,145	-			
		(c) 増減額（b-a）	0	-			
		(d) 繰越額	-	45,145			
		A. 計（b+d）	45,145	45,145			
	B. 執行済額		0	44,464			
	うち補助金充当額		0	35,571			
	次年度繰越額		45,145	-			
	執行率（%）（B/A）		0.0%	98.5%			
予算の状況の説明		造船需要の高まりや製造・検査などに約9ヶ月を要することとなったため繰越を行った。不用額の681千円については入札残によるものである。					
活動目標（指標）及び達成状況	活動目標（指標）		達成状況				
			H29年度	H29年度（繰越）	R1年度	R2年度	
	大型船舶の整備	目標	（ 1隻 ）	（ - ）	（ ）	（ ）	
		実績	-	1隻			
	漁業従事者受入住宅の事業計画及び基本・実施設計の完了	目標	（ 完了 ）	（ ）	（ ）	（ ）	
		実績	完了				
達成状況説明	○大型船舶の整備については、造船需要の高まりなどから、必要な造船レーンの確保がH30年6月までできないことが判明し、年度内の事業完了が困難となった。加えて、部品発注・製造・組立準備に6ヶ月程度要するほか、船舶完成後の検査も3ヶ月程度要することとなり、造船期間を延長する必要が生じたため、H30年12月の納品となった。 ○漁業従事者受入住宅の事業計画及び基本・実施設計の策定については計画通り完了した。						
成果目標（指標）及び進捗状況	成果目標（指標）		基準値（H29年度）	度	R2年度	目標値（R3年度）	
	漁獲量の増加	目標	（ ）	（ ）	（ ）	（ 63.8トン ）	
		実績	28.5トン			-	
	成果目標（指標）		基準値（H29年度）	H30年度	R1年度	R2年度	目標値（R3年度）
	新規漁業従事者の受入	目標	（ ）	（ ）	（ ）	（ 3世帯 ）	
		実績	0世帯			-	
進捗状況説明	○漁獲量については、大型船舶の確保など環境整備を行うことで、令和3年度までに63.8トンを見込んでいます。 ○新規漁業従事者の受入については、大型船舶の確保とあわせて定住住宅の整備を行い、令和3年度までに3世帯の受入を見込んでいます。						

推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)		改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	<ul style="list-style-type: none"> ○「漁獲量の増加」 ・本村の漁船は小型(2t未満)のものしかなく少しのうねりで漁へ出れなくなるため、従来船より大型な船舶(5t未満)の整備が急務と考えるが造船所が少なく製造レーンの確保が課題となった。 ○「新規漁業従事者の受入」 ・本村には民間のアパートや空き家が少なく新規漁業従事者の受入れには住宅問題が課題となった。 	<ul style="list-style-type: none"> ○「漁獲量の増加」 ・製造会社と調整を行い早急に製造レーン乗せる必要がある。 ○「新規漁業従事者の受入」 ・基本・実施設計の結果をもとに早急な建設が必要である。
	今後の取り組み方針	
<ul style="list-style-type: none"> ○「漁獲量の増加」 ・製造会社と密に調整を行い製造レーンの確保を行う。 ○「新規漁業従事者の受入」 ・交付決定後、早急に入札が行えるよう事前に準備を行う。 		



資金の流れ、費目・用途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	委託料については指名競争入札を行っており妥当と考える。備品購入についてはプロポーザル形式を行っており妥当と考える。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	積算については、3者見積によるものとなっており妥当と考える。
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	-
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	費目・用途に関しては、予算要求時に財政担当の査定を受けており、かつ、検収時において確認を行い適正であった。